

## 資料 1

西東京市公民館運営審議会  
令和3年度第8回定例会議

## 令和3年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和4年1月26日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	事業内容	主な講師等
1	柳沢	親子で楽しむ講座 水辺の生物	8月18日(水曜日) 8月20日(金曜日) 9月4日(土曜日) 10時から12時 全3回	延べ43人	武蔵野台地が作られた地球の歴史と地質の特徴、水の流れについて学習した後、実際に落合川の中を歩き、湧き水の出る場所を観察し、水生動物の採集と分類を行った。参加者にとって、きれいな川に入って水生動物に触れることができる貴重な経験となった。	小田島庸浩(多摩六都科学館・研究交流グループ) 荒井和男(東久留米・川クラブ) 北村沙知子(多摩六都科学館・研究交流グループ)
2	柳沢	家庭の教育力向上講座 ゆらぐココロのヒアリング ～これでいい!と思える自分へ～	10月28日から 11月25日 木曜日 10時から12時 全5回	延べ59人	小学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもにイキイキと向き合うためのヒントを得る講座として実施した。グループワークにおいて、自分のことを語り、他者の意見や感想を聞くことは多くの共感と学びを得る機会となった。	藤田 潮 (and Cs代表、文部科学省認可生涯学習開発財団認定マスターコーチ) 松本和美(日本メンタルヘルス協会ストレスカウンセラー) ハハマナブ(市内で、子育てに関わることについて活動する市民グループ)
3	田無	防災講座 家族で育てよう!考える力・生きる力・乗り越える力	11月13日(土曜日) 11月27日(土曜日) 12月5日(日曜日) 14時から16時 全3回	延べ90人	地震のしくみを地震波装置やビルの模型から、視覚的・体験的に学ぶことができた。子どもが一人で留守番している時の連絡方法、トイレの代替品など、実験を取り入れることで積極的に学ぶことができた。東日本大震災のドキュメンタリー上映会では被災当事者の感情を共有し、自然との共存について考える機会となった。	小野修平(ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー) 齋藤正晴(多摩六都科学館天文グループ・グループリーダー)

4	芝久保	暮らしに役立つ実学講座 レッツ・エシカル消費！ ～あなたの力で 未来を変えよう～	9月18日 9月25日 10月2日 土曜日 14時から16時 全3回	延べ38人	エシカル消費とは何か、なぜ大切か、物を選ぶ時のポイント、社会的課題との結びつき等を学んだ。また、エシカル消費を今日から始められるよう、食品ロスと環境問題を具体例を通して学ぶことができた。	生駒芳子（（一社）日本エシカル推進協議会副会長） 行長万里（食品ロス削減研究家） 池田干城（西東京市消費者団体連絡会所属）
5	芝久保	多世代交流講座 五感でアート 農&美術でコミュニケーション	10月31日（日曜日） 11月3日（祝日・水曜日） 11月14日（日曜日） 10時から12時 全3回	延べ41人	同じ地域に暮らす多世代がいっしょに制作や、さつまいも掘りの体験をとおして互いを知る機会となり、親子や高齢者と子どもの交流を深めることができた。	進藤幸枝（臨床美術士） 若尾健太郎（ノウマチ事務局長） 野坂亮太（農業経営者、みんなの畑農業指導）
6	保谷駅前	第12回 駅前フェスタ2021 つなぐ 広がる 笑顔の和	10月16日（土曜日）から 10月23日（土曜日） 10時から16時 （最終日13時まで）	延べ475人 （来館者約300人・スタッフ延175人）	保谷駅前公民館を中心に活動する団体の活動の様子、および学習の成果を披露することで、公民館では多様な学習が市民主体で展開されていることを地域に周知してもらえるように実施した。 市民と共に企画実施していくことで市民活動や交流の機会が公民館にとどまることなく、地域に広がっていくきっかけを提供することができた。	
7	保谷駅前	親子講座 ネイチャークラフトを楽しもう	12月12日 日曜日 14時から16時	18人	親子参加とし、家族で自然にふれあい、自然の産物を利用して様々な物を作る喜びを知る機会とすることが出来た。	島田幸夫（元市内小学校長） 岩田 廉（下保谷在住、小学校図工教諭）